

地場の夏野菜が続々入荷中！ 三浦長嶋さんの枝豆 トウモロコシ 鎌倉手広大平さんの露地トマト等！



風の便り

まだ梅雨ですが、真夏のような暑さ！

水分と一緒に程よく塩分も取りましょう。

2016年6月後半号



海の精 いのちのもと
今年も発売中！

500mlに1包とかして飲むと
水分と塩分(ミネラル)補給！ 10包入り ¥286-

発行元 **オーガニックマートよこい**

住所 鎌倉市手広2-25-8 マリオンハウス1F

TEL 0467-38-1337 FAXフリーダイヤル 0120-4513-55

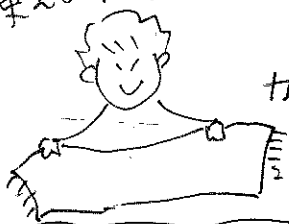
ガーゼストール
大半は国産
軽くオススメ

(メールアドレス) ogm-4513@plum.plala.or.jp



ブログにて日々の情報公開中！

一年中
使えます！



直接肌に触れるものはぜひオーガニックコットンをお勧めします！

今回、チラシでオーガニックコットンの肌着・タオルなどを

ご紹介しております。ぜひご覧ください！

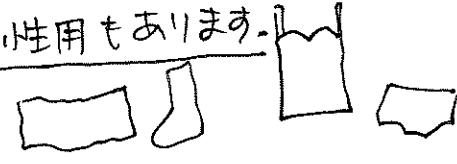
この使い心地はぜひ実感下さい！

冬は暖かく、夏は汗を吸収してすぐ乾く、天然素材ならではの着心地です。

肌に触れるものをオーガニックコットン素材にすると、その肌触りのよさと、着心地の良さで幸せになります。

子供用・男性用もあります。

お問い合わせ
下さい！



土で染付した優しい色合いです。

下着のグレーやピンクはすべて土からの色です。ピンクはオーストラリアのエアーズロックの土。グレーはバリ島の湖の土です。靴下の藍色はインディゴとも呼ばれ、植物のタデアイが原料です。



洗たくしても色あせず
優しい色合いです。

ナイロン等混紡の靴下がある？

一部コットンにナイロン・ポリウレタンがそれぞれ5%入った靴下もあります。

なぜコットン100%でないかという、ゴムの部分などに収縮性を持たせているものはきちんと表示しています。



100% コットンのものもあります。
少しのびやすいのが欠点です。

靴下コットン100%のカラクリ。

コットン100%と表示された靴下の多くが、実はゴムの部分・補強が必要な部分などにコットン以外の繊維を用いても、5%以下なら『コットン100%』または『綿100%』と表示してもいいことになっているのです。



ゴムの部分も全てきちんと
表示しています。

何でもお問い合わせ下さい！

ちょっと気になる今年の天気…年々高まる気候不安！



横井 競一

④

例年なら5月頃には発生する台風1号…
今年はまだ発生していません。

皆さん、気候変動は今年も続き、各地で様々な形で被害・影響を与えています。皆さん、お気づきでしょうか、なかなか気づきにくく、お気づきの方は少ないのですが、今年はまだ台風が発生していません。言われてみればなるほどザ・ワールドですね。(相も変わらず古い言い回しで奮闘努力しています。悪しからず)

来たら来たでい
い画だけい
来なけりゃ来ない
でい画だけい



先日、矢島の旦那と話している時にふと「そういえば台風、今年どうなっているの」と、ふと思いつき、後で調べてみたら、やはり台風はまだ発生していませんでした。1998年以来で、観測史上4番目の遅さで、台風が生まれるフィリピン近海に高気圧が張り出しているのが原因となっているようです。

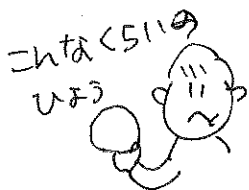
記録によりますと、台風は年平均で25.6個発生し、4月は0.6個、5月は1.1個と、例年は複数発生しています。昨年は12カ月連続で発生しましたが、今年発生がまだにゼロです。過去に発生が遅かったのは98年7月9日、73年7月2日、83年6月25日。今年52年6月10日午前3時の記録を更新しました。う～ん、よく調べた…自画自賛…ネットなら簡単だよ…シッ！

毎年のように「例年にない」「100年に一度」というような異常気象が起きてくる…!?



中国では先日大きなたつまきや。

野球ボール大のひょうが降りました…



気象庁によりますと1号の発生がずれ込んだ年の大半が、エルニーニョ現象がピークを迎えた翌年でした。現在、2014年に発生した同現象は終息しましたが、インド洋の海面水温が依然として高く積乱雲の発生が活発化。一方、フィリピン近海が高気圧に覆われ、積乱雲の発生が不活発で台風ができにくく、同庁は「熱帯の大気循環が変化している」(予報課)と説明しています。

発生が遅いと台風被害も起こりにくく、良いのでは…という単純な図式になればいいのですが、そうは問屋が卸さないようです。過去には集中して起こり、暴風、大雨などで大きな被害が起きています。今年7月以降に集中する恐れがあるのでは…という見通しもあり、今後不安を抱かせます。

日本でも雨が降るとザーッと大雨になります。



じわじわと身近にせまってくる…

環境破壊



一過性の事でしょうが…今年雨が少ない、利根川水系のダム貯水量も減り、一部地域で取水制限が始まりました。このままの状態が続くと取水制限が強まり、各家庭に影響を与え、農業用水の確保にも難しくなるかもしれません。水は人間生活の全ての大元、水がないと生きていけません。

皆さんすでにご存知のように気候変動の大きな原因は地球温暖化です。各国が温暖化対策に知恵を絞っていますが、その地球温暖化はどうなっているのでしょうか……

アメリカの米海洋大気局（NOAA）は、世界各地で観測した二酸化炭素の濃度が1カ月の平均で初めて温暖化の「危険水準」に入ったと発表しました。海洋大気局が世界の40カ所で二酸化炭素の濃度を観測した結果、今年3月の1ヶ月の平均が初めて400ppmを超えました。

もうここまで来てしまった…というレベルです…



1997年
京都議定書
からおよそ
20年…

CO₂削減は
机上では進ん
でいるようですが…

この35年間で世界のCO₂濃度は約18%増加し、大気中のCO₂濃度は、化石燃料の大量消費に伴って過去数百万年間で最も高いレベルに達しています。指標となるハワイの山頂の観測所で2013年に初めて400ppmを超えた後も上昇ペースが止まらず、NOAAは「今年中に世界の年間平均濃度が400ppmを超えてしまうのは確実だ」と警告していましたが…ついに！

400ppmは地球温暖化の危険水準に入る分岐点で、産業革命以降の気温上昇を2度以内に抑えるには温暖化ガス濃度を450ppmまでに抑える必要があると指摘されています。海洋大気局の研究者は「二酸化炭素の濃度の上昇を止めるには、化石燃料からの排出量を80%減らす必要がある」と指摘しています。

現実には
最悪の結果と
なっています…

南極もついに…

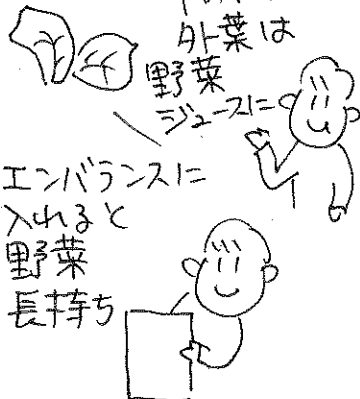
さらに米海洋大気局（NOAA）は6月16日、南極で測定した大気中の二酸化炭素（CO₂）濃度が、初めて400ppmを超えたと発表しました。NOAAによると、地上の観測点のうち大台を超えていなかったのは南極だけでしたが、「最後のとりで」もついに地球温暖化の危険水準に入りました。みなさ～ん、地球は本当に危ない状態で～す！



そこで、どうしたら温暖化を防ぐかが大きな課題となりますが、私たち一人一人が出来る事、それも簡単に出来る事があるのです。こんな事実があります。世界中で生産される食料の約1/3が廃棄され、大量の温室効果ガス排出につながっていることが判明しています。世界中でどれ位の量の食料がムダに廃棄され環境に影響を与えているかを国際連合食糧農業機関（FAO）が調査し、レポートとして発表しました。

世界で一番
多くの食材を
輸入し、
世界で一番多く
食べ残しを
捨てている
日本!!

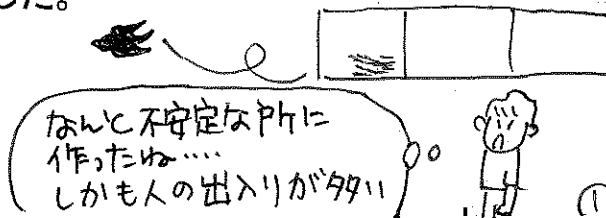
キババツヤシタスの



この食料廃棄は温室効果ガスの3番目に大きな排出源となっています。毎年13億トンの食べ物が廃棄され、約74兆円もの経済的損失となっています。食糧廃棄が最も多いのは日本・中国・韓国の三カ国で形成されている地域だそうです。そしてこのレポートによると1年間で廃棄される食料から出る二酸化炭素排出量は、なんと33億トンにも上ると推測されました。食べ残しを含めたごみ軽減。これなら私達でも日々出来るそうですね、一人一人が出来る事を…地球温暖化ストップ！

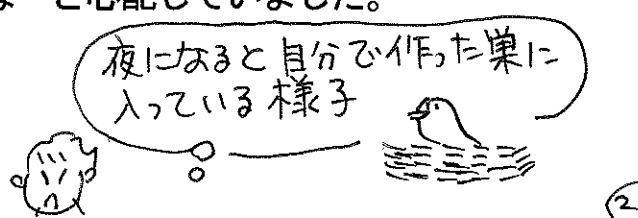
店先にツバメが巣を作りました。

5月の中頃、店前のテント裏にツバメが巣を作りました。少しずつ大きくなる巣を見ては嬉しい気持ちでした。



なかなか生まれないな～？

1か月くらいたってヒナが生まれる様子がなく、今の時代はツバメもパートナーを見つけるのが大変だということなので、大丈夫かな～と心配していました。



ヒナが生まれたある日のこと！

巣の下に小さい卵の殻のようなものが落ちており、その数日後ピィピィ鳴き声が聞こえるようになりました！ついにヒナが生まれました！とワクワクしていたのですが…



巣が落っこちてしまったのです…

そんなある日、さあ帰ろうと店の周りを点検しに行ったところ、巣が落ちているではありませんか？！さっきまで何ともなかったのに！どうして？



私もツバメもパニック！

私はパニックになってしまいました。テントの裏には親ツバメがじっと見つめています。ポーズンとした表情は人間だけのものではないのだと思いました。まさに（ポーズン）とした表情の親ツバメ。



巣を拾い上げると中にヒナが！

巣の中には綿ぼこりのような小さなヒナが、くちばしを開けてピィピィ鳴いています！どうしていいかわからないけれど、とにかくもどに戻してみよう！

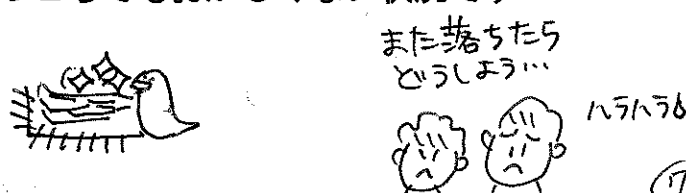
そばにあった小さな箱とガムテープで何とか元の場所に戻してみました。生きてる！！



次の日店に来ると…

応急処置で戻した巣に、親ツバメがエサを運びに来ています。ヒナたちも元気な様子。ただただホッとしましたが…

どうしていいかわからず、夜くらい中で、慌てて箱とガムテープで補強したので、いつ落っこちてもおかしくない状況です…



カゴと板で頑丈に補強しました。

何度も人間の手がかかると、親ツバメがヒナを見放してしまうかもしれない…と不安でしたが、巣がまた落ちてしまう心配のほうが大きくて、しっかりしたカゴで巣を作りなおしました。3羽のヒナが元気に育っています。飛び立つ日が楽しみです。

